



第55号
発行所 愛知縣額田郡
幸田町公民館
印刷所 岡崎活版所

〇こあいさつ

本多伴吉

大空高く清く澄み、豊葉かゞよう
稲の葉末に白露滋く、朝々トランベ
ットから流れるラジオ体操のリズム
も爽かに、誘蛾灯の光涼風に明滅し
て二十日も恙なく過ぎ、豊けき稔
りを想わせる新涼九月、不肖、やむ
にやまれぬ四囲の情勢から「和」を
貫しとする一円融合の精神に背き、
心ならずも絶大の御支援と真心から
進る御同情に推され、明せずして新
生幸田初の町政に携わる重責を双肩
に担う感激に、涙溢れ全身のわなな
きを止め得ません。

今更申し上げるまでもなく、小生
日頃のモットーは「明朗で文化の香
り豊かな幸田町の建設」で、伝統に
生きる農民の封建の名残を打ち碎き
、生活の合理化に力めて水準を高め
、所謂地域社会の福祉を増進する「
民主的な、住みよい、明るい、健か
な町づくり」であります。
流れる水の清新をモデルに、日々

新にして新たな淀みなき施政を三省
猛省して最善を尽し、微力ながらも
減私以て忠実な公僕としてたゞたゞ
全力をあげて御信頼に応えたいと念
願しております。

一万七千町民の皆様、良きにつけ
悪きにつけて、事の大小軽重を問わ
ず、時、所、老若男女に拘らず、遠
慮のない正しい御意見、忌憚ない御
評価を承り、御助言に基づき、公僕
精神に則り、「真に納得のいく明る
い政治」を気軽に御相談申し上げつ
つ、ひたすら老骨に鞭うち、四十に
余る同僚を励み、最後の御率
公に拍車をかけ、有終の美をあげ、
幸田町史の一頁を飾るべく、理想に
邁進する決意に燃えています。
聊か抱負にお願いを添えて御挨拶
といたします。

幸田町長選挙投票率

(昭和29・8・30)

投票所	性	有権者数	投票数	不在投票数	棄権数	投票率	順位
第一 長久保	男	537	470	0	67	87.52	5
	女	582	510	0	72	87.63	
	計	1119	980	0	139	87.58	
第二 大高	男	531	469	4	62	88.32	4
	女	594	520	0	74	87.54	
	計	1,125	989	4	136	87.99	
第三 鷺新	男	299	281	0	18	93.98	1
	女	318	309	0	9	97.17	
	計	617	590	0	27	95.62	
第四 岩横三	男	549	427	0	122	77.77	8
	女	1,031	859	0	222	79.96	
	計	1,630	1,286	0	344	78.89	
第五 萩野	男	616	504	0	112	81.82	7
	女	685	583	0	102	85.11	
	計	1,301	1,087	0	214	83.51	
第六 深逆	男	730	665	5	65	91.09	2
	女	786	717	1	69	91.22	
	計	1,516	1,382	6	134	91.16	
第七 桐上六	男	318	272	0	46	85.53	6
	女	379	318	1	61	83.91	
	計	697	590	1	107	84.65	
第八 野永須	男	568	524	1	44	92.25	3
	女	619	524	0	95	84.65	
	計	1,187	1,048	1	139	88.29	
計		4,148	3,612	10	536	87.08	
		5,044	4,340	2	704	86.04	
		9,192	7,952	12	1,240	86.51	

九月十五日としよりの日

教育委員

(昭和二十九年八月三十日当選)

氏名	生年月日	住	所	職業	備考
田境 一郎	明治1979	幸田町大字須美字元屋敷四〇	農	副委員長	
足立 弥四郎	13113	大字大草字彌宜屋敷三七	農	委員長	
足立 草逸郎	22111	大字芦谷字後シロ三七	農		
稲吉 仁藏	28320	大字逆川字引手二八	農		
大津 米太郎	2135	大字坂崎字揚り山二七	公務員	議会選出	

幸田町長選挙候補者得票数

当選	四、一〇六票	無所属
次点	三、七四三票	墨江 貞治
		本多 伴吉
		農

農業委員選挙人名簿登載者数

投票区	人員	内	訳
1	六票	長嶺 161 久保田 184 坂崎 601	
2	六票	大草 640 高力 266	
3	五票	新田 100 鷺田 285 東部 131	
4	四票	岩堀 442 横落 35 三菱 0	
5	六票	萩 303 芦谷 232 幸田 140	
6	一〇八票	里 356 海谷 229 市場 365 逆川 128	
7	六票	桐山 215 上六票 219 六票 196	
8	一〇八票	須美 243 野場 604 永野 195	
計	六、二〇七票		

410
374
36

こあいさつ

暑い暑い夏も台風一過、秋冷の暮し好い時と成りました。皆様には益々御健勝にわたらせらるゝ事とお喜び申上げます。扱て私事、旧豊坂村長在職中は、公私共に絶大なる御支援と御交情に預り、お陰を持ちまして大過無く重責をはたし得ました事を深く感謝致し居る次第で御座居ます。今回国の要請によりまする町村合併実現に際しましては、皆様には時代の情勢を御認識下さいまして、一致協力よく御支援御鞭撻を賜りまして、去る八月一日新生幸田町が目出度誕生致しました事は、誠に御同慶至極に御座居ます。扱て今度幸田町の発足に伴い、教育委員の改選によりまして、計らずも深溝学区の皆様御推薦により、去る三十日の教育委員選挙会に於て当選し就任致す事に相成りました。元来、浅学非才の者故此の重任に堪へ得るやと苦慮致し居る者で御座居ます。併しながら賢明なる皆様の御協力におすがりし、町御当局を始め学校当局との連絡協調を計り、新生幸田町をして産業に、文化に、理想郷たらしむべしと、微力を致し度い念願に御座居ますれば、何卒皆様の御援助と御鞭撻を賜ります様お願い致しまして私の御挨拶と致します。

幸田町教育委員
稲吉 仁藏

我がクラブの活動

深溝四日クラブ 村越 唯雄
深溝四日クラブは、クラブ員の親睦を計り自己の農業知識を高め将来健全な農民となる性格のもとに、昭和二十六年八月三日設立以来二年半余り、組織の充実に力を入れて来たが、プロジェクトが不十分なため効果が上らなかつたので、本年度から充実にするよう事業計画をたてた。
一、大会 年一回、定例会 月一回
二、プロジェクト見学と先進地視察
三、講演会、研究発表会
四、社会奉仕、レクリエーション
共同プロジェクトは「水稻における肥鉄土の効果試験」個人はトマト、水稻、菊花、野菜等々種々ある。ポリドール消毒を五日間奉仕し、映画会を開催して喜ばれた。
定例会は、毎月第二土曜日に行い個人プロジェクトの意見交換が主で時に講演会や幻灯会を行う。

○
深溝農業発展のため研究努力いたしますから一般の御協力御後援をお願い致します。

社会体育シリーズ (3)

バレー・ボール

いろ／＼なスポーツの中で、終戦後特に農山漁村を問わず全国に広く普及したものはバレー・ボールであろう。

一、起源

バレー・ボールは西紀一八九五年（五十九年前）にアメリカのYMCAのモルガン青年がウッド博士の協力によつて創案した。

考案の動機は、それ前から普及していたバスケットボールが余りに過激であつたので、もつと温和なゲームの必要を感じたから、競争的見地からでなく、専ら体育的な立場で、適度の興味と運動量を持たせ、狭い所で、老若男女を問わず、手軽に楽しく遊べるという条件の下に考案したもので、最初は一本のロープを張り、籠球の中ゴムをとり出してやつたが、次に庭球用のネットを用い、ボールが軽すぎて遠くへとばないの、工夫改良の結果、今日のような正式のネットとボールが作られた。翌一八九六年初めて公開され、そのモデルゲームが、体育専門学校で

行われ、爾後技術を身につけた卒業生より、世界各地に紹介され、急速に普及発達した。

二、渡来

大正二年、ブラウン氏によつて初めて我が国に伝つたが、当時は遊びとして生まれ、しかも都会に限られていたが徐々に普及して、大正六年五月東京芝浦で第三回極東オリンピック大会が開催され日本代表チームが出場してからスポーツとして出発することになつた。

三、特長

- 1、狭い場で、比較的大勢が同時に楽しめる。
 - 2、年齢や体力に応じ、適宜方法を變え、老若男女が楽しめる。
 - 3、競技規則が比較的簡単である。
 - 4、季節に関係なく年中できる。
 - 5、ネットを狭んでやるので危険性が少ない。
 - 6、全身的な運動で、特に胸部の発達により影響を与える。
 - 7、各が平均した運動ができる。
 - 8、設備が簡単で安価である。
 - 9、興味がある。
 - 10、協同精神の涵養ができる。
- 四、方法
一定の高さのネットを狭んで両組

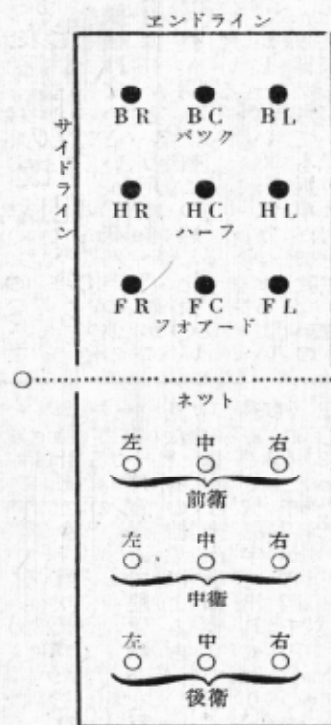
各九人の競技者が一定の広さのコートに相対し、互いに一つの球を打ち合う競技だが、途中で落したり、コート外に打ち出したり、反則を犯すと相手に1点とられ、おまけにサー

五、コート

プの権利まで相手に譲らねばならない。こうして先に21点とつた方が勝となるが、もし20対20の同点になると連続2点勝ち越すまでジュースを続ける。

区分	種別	コート		ネット		ボール	
		長さ	幅	高さ	幅	周り	重さ
男	新制 一般	二一m	一〇・五m	二・二五m	八五・以下	六七	三二〇g以下
女	新制 一般	一八	九	二・〇〇	六六以上	六六	三〇〇g以上
子	新制 小学	一四	七	一・八〇	五八以上	五八以上	二〇〇g以上
	新制 中学	一六	八	一九〇	六〇以下	六〇以下	二二〇g以下
	新制 高校	一八	九	二・〇〇	六二以上	六二・〇	二四〇g以上
	新制 中学	一八	九	二・〇〇	六三以下	六三	二六〇以下

六、プレイヤーの位置と名称





郷土史料の

俚 謠

志賀 又 郎

四、機織歌

- 機の織手といわれるよりも、あの娘場織といわれたい。
- 年は食わねど俾りながら、やばな男にや負けやせん。
- 糸は緒じやない切れそうなものと思ひながら腹がたつ。
- 今年しや何でも嫁がにやならぬ貰手なけらにやのたりこむ。
- 機が織りよて糸さえきれにや、何の機織いやといわう。
- 亭主に死なれて子供が五人、田地売らずにや年とれん。
- 西の窓あけせけんを見れば、あの星あたりがさまの宿。
- 奉公する身は楽だか苦だか、一度出て見てあきらめる。
- 機織りやさせてもわたしの妻よ、しばしこちらに預けおく。

五、白挽歌

- 白は挽きから出は廻りから、晩のあがりは飾から。
- 白の軽さよ相手のよさよ、相手交るな明日の夜も。
- 挽いておくれよ二挽三挽、人の白

だと思わずに。

- 思いがけない手伝うけて、何でかやそこの御恩。
- おらがおせどの桐の木さんは、忍ぶ男を葉でかくす。
- 親は子というて訪ねもするが、親をたずねる子は稀な。
- 道理知らなきや歌きけ女、歌は道理につんだもの。
- 白も廻れよこがしもできよ やがて山から見がくる。
- 挽いておくれよ一番挽きを、二番びきからわしもひく。
- 朝の横着晩げのかせぎ、なんぼかせいで追いつかん。
- 宵のかかりにこれはと思つた、まづはお仕上げおめでたや。

豊坂中学校受入式

に参列して

教育委員 田 境 一 郎

「註」本文は去る九月一日行われた豊坂中学校受入式の際の田境教育委員の祝辞の大要で両町村民の合併に対する心構にも多大の示唆するところあると信じてこゝに載することにした。(記者 志賀誌) 私は皆さんに二つのことを申し上げたいと思います。

その第一は本日の皆さんの受入式に於ける態度光景であります。

へんぼんとひるがえる校旗を先頭として権田校長先生引率のもとにブラスパンドの奏楽裡に堂々と入校する豊坂中学生徒を幸田中学の生徒各位が心から歓迎して一斉に拍手をもつて迎えられるあの光景は私は嬉しくて、感謝感激の涙が止度もなく流れたのであります。

私は豊坂村教育委員長として自分の手しほにかけたいとし子がかくまひで歓迎せられる有様を見て嬉しさに涙がこみあげて来たのであります。この気持ちは永久に忘れない様にしたいものであります。

この気持は新しい大幸田町の今後益々発展する原動力となるのであります。

「さがるほど人が見上げる藤の花」と申しまして人も自己を空うじて謙遜的な気持になればなるほど他人は尊敬するのであります。本日の皆さんの態度は立派な藤の花の様であります。たしかに人に見上げられる様な態度であります。

本日皆さんの抱いて居るこの気持は即言葉をかえて言えは他人の人格を尊重するこの気持は両町村合併の有終の美をなす原動力であります。

第二に申し上げたいことは学校を一つにしたために通学距離が遠くなつたという不平不満であります。私は通学距離が遠くなつたことにはたしかに同情いたします。それがために町当局や町議会議員の方々の努力によつて一日も早く通学道路の改修を願うものであります。

しかし考え様によつては禍が福と変らないものでもありません。昔から艱難汝を玉にすというではありませんか。通学距離が遠いということは却つて意志の強固な困難にも屈しない強い立派な人を作ります。古語にも「天の將にこの人に大任を下さんとするや、必ず先づその心志を苦しめその筋骨を勞せしむ」と申します。

神さまはあなた達をえらい人間にするために困難な遠い道を通わせるのだからかりません。そう思うと遠方から通うものは却つて仕合せであります。須美や逆川、深溝、坂崎の遠いもの勇気を振つて将来人一倍えらくなるのだと喜んで頂きたいのであります。

私が以上述べました二つのことは、このたび新しく出来ました大幸田町の大発展の礎となるものであると堅く信じ疑はないものであります。

幸田町高齡者一覽表

年令	年	性	区名	長	久	坂	大	高	鷺	鷺	新	岩	横	荻	芦	幸	里	海	市	三	逆	桐	上	六	野	永	須	合 計		
				嶺	保	崎	草	力	田	東	堀	落	谷	田	谷	場	菱	川	山	栗	栗	場	野	美	男	女	計			
90	元治	元	男																											2
89	元治	元	女			1			1																				2	2
88	慶応	元	男								1																1		2	
88	慶応	元	女															1										1	2	
87	2		男			1																					1		4	
87	2		女			1				1										1								3	4	
86	3		男									1															1		2	
86	3		女												1													1	2	
85	明治	元	男						1																	1	2	3	5	
85	明治	元	女			1	1												1									3	5	
84	2		男													1									1		2	5	7	
84	2		女	1							1	1	1	1									1					5	7	
83	3		男						1																		2	4	6	
83	3		女	1			1	1										1									4	6		
82	4		男				1	1			2	1		1												1	2	10	12	
82	4		女			1	1		1		2	1					2	1									10	12		
81	5		男			1	1				2			1	3			1			1						8	12		
81	5		女			1	1		1									1									4	12		
80	6		男	1					1					1							1				1		5	9	14	
80	6		女			2			1	1					1	1	1						1			1	5	9	14	
79	7		男			2			1		1				1	1	1					1	1	1	2		10	13	23	
79	7		女	1		3	1		1	1	1				1	1	1				1	1	1	2			10	13	23	
78	8		男			1	1	1						1								1		1	2		12	10	22	
78	8		女			1	1	1			1			1								3		1	1	1	12	10	22	
77	9		男			1								2									1		2		9	19	28	
77	9		女			4		1		2	1	4		1	1	2	1	1			1			1			9	19	28	
76	10		男	1	1	3	2	1		1	1	2	1	1	1							1	2	1	2		20	24	44	
76	10		女	2		3	1	3	1	1	1	3									2	3	1	1	1		20	24	44	
75	11		男			3	1	1			2	1			1	1	2					1	1	1	2		16	30	46	
75	11		女	1		2	3	3	3	1	3	1			2	1	2				2	1	1	2	2		16	30	46	
74	12		男			2		7			1	1		1	1	1	5						1			1	21	29	50	
74	12		女	2		4	4	2	2	2		2				2							1	5	3		21	29	50	
73	13		男			2	1	4			1	2	4									4		1	2	5	27	35	62	
73	13		女			1	7	1	2	1	7	1	2	1	1	1	1	2				1	1	2	2	1	27	35	62	
72	14		男			1	2	3	3		2	2	3	2	2	1	1	2				1	1	2	1	2	30	34	64	
72	14		女	1		2	5	4	2		3	4	1	1	3		3					1	3	1	1	2	30	34	64	
71	15		男			1	3	4	1	2	1	1	4	1	2	1	3					2	1	3	4	2	36	35	71	
71	15		女	1		2	8	2	4		1		2	3	2	2	3					1	1	1	1	1	36	35	71	
70	16		男			1	7	3	3	1	2	2	4	2	1	4						1	1	1	1		33	33	66	
70	16		女			1	2	3			1	1	6	2	2	3						3		2	5	1	33	33	66	
69	17		男			1	2	4	5	2		1	2	1	2	1	6	6				2	1	1	1	1	42	29	71	
69	17		女			1	1	3	4		1	1	1	2	2	2	1	1					2	2	1	4		29	71	
69	合計		男	4	9	20	35	12	7	4	5	16	32	17	15	14	43	2	8	6	10	9	20	7	3	280		613		
69	合計		女	11	4	35	38	12	21	12	4	25	32	13	10	13	9	25	2	8	11	12	12	22	4	7	333	613		
69	合計		計	15	13	55	73	24	28	16	9	41	64	30	25	27	13	57	2	16	17	22	21	4	11	10	613			

九月四日は

報徳記念日

報徳といふことは、天地人三才の大徳に報ゆるのに、真心を本として人間の勤儉讓の小徳を以て報ゆるといふことであります。天に日月があつて雨露を生じ、地に山川があつて五穀野菜を生じ、我々人類はお互いに相助けてこの世を渡るものであります。この天地人三才の大徳に報ゆるというのが報徳の越旨であつて二宮先生の生涯は、全くこの実践で模範を後世に残されたのであります。

先生は天明七年（一、七八七年）初秋の涼風身にしむ七月二十三日（太陽曆換算九月四日）に、相摸国足柄郡柏山村（神奈川県小田原市）の貧家に生まれ、少年時代から、世の中の苦勞をなめながら、人間はたゞ徒らに食つて死ぬのみではいかぬ。何か世の爲めに功を立てなければならぬと志して、ひたすら天地人三才の徳に報ゆるために、七十年の生涯を、世のため人のために施して、道徳と経済との調和を図つた近世に稀な偉人であります。

明治になつて従四位を贈られ、神に祭られ、その教えは連綿として後世を益しております。

人口動態 (7月分)

出生	26	男 9 女 17	累計	77 66
死亡	5	男 2 女 3		24 28
死産	0			0
婚姻	10			69
離婚	0			2

増産百語

天命、当時、田畑山林売り渡し申すなり。売り渡せば売渡したるところ、即ち天性自然なり。天性自然の売り渡す様になり行き、天の御罰を恐れ、身分をへりくだり、衣服、飲食、居住、音信、応答に至るまで、節儉を尽し、第一早亦より、手配り御田地、普請再発、肥、灰持ち運び、すきかき耕し等干しかえし、夏は蒔きしつけ、草とり、水廻り、秋は刈り取り候儀は申すまでも之なく、冬は御年貢諸役高がかり等相納め席おり、或は俵こも、或は木こり、草鞋、草履に着物等の手わざまで、日夜朝夕相励み父母を養い、妻子をはぐくむ。

—二宮尊徳翁の言葉—

天命十訓 (九)

人口動態 (旧豊坂村分)

項性	月	1	2	3	4	5	6	7	計	備考
出生	男女計	32	63	33	67	22	11	4	25	
	男女計	25	39	613	6	22	4	3	21	46
死亡	男女計	0	1	4	2	0	2	2	11	
	男女計	1	3	1	3	3	5	4	14	25
死産	女			1					0	
	女								1	
婚姻		3	1	6	3	4	1	3	21	
離婚		1				2			3	

栄養改善普及運動

- 利用しましょう。
- 保健所の栄養相談を
- 緑黄野菜を食べましょう。
- 粉食をもつと取りましょう。
- 食生活の合理化は献立から。

NHKラジオ体操の会

とき 九月十八日 午前六時三十分
ところ 幸田町立幸田中学校々庭
(雨天のときは幸田町公民館)

みなさまふるつて
御参加下さい。



育児講座

(七)

18、桃の砂糖煮クリームかけ

(五人分)

材料、桃一個、砂糖大匙二杯
牛乳一合、卵一個、塩少々
片栗粉大匙一杯

桃の皮と種を除き一口位に切つて砂糖煮とする。牛乳に卵黄、砂糖、片栗粉、塩を混ぜ、クリームを作つてかける。

19、南瓜のクリーム煮、五人分
材料、南瓜十分の一、牛乳二合、砂糖大匙一杯、塩少々

南瓜は蒸し器で蒸し、うらこしにかけて 牛乳、砂糖、塩で煮て、冷ましてから与える。

(八月十二日実施)

〔文庫〕

縣立中央図書館、

貸出文庫図書目録

一、第4号 F

- 1 プラリひようたん、2 中国千一夜
 - 3 たのしみを創る生活、4 上海無辺
 - 5 ボケット茶根譚、6 垣根越し、
 - 7 福井式米の多収穫栽培法、
 - 8 藤原銀次郎回顧八十年、9 血液、
 - 10 家庭の審判、11 小学教師の告白、
 - 12 女侠一代、13 銭形平次捕物全集、
 - 14 子供の病氣と家庭手当と看護、
 - 15 有畜農業の実際、16 映画の世界、
 - 17 囲碁読本、18 トランプの遊び方、
 - 19 俳句の成るまで、20 道元禪師、
 - 21 風にそよぐ葦(後篇)、22 明治川、
 - 23 鴈鳴浪人、24 子は誰のもの、
 - 25 六つの悲劇、26 ホープさん、
 - 27 美貌の海、28 ワイガロの結婚、
 - 29 街道筋、30 女の一生
 - 31 恋染富士、32 孤独な散歩者の夢想
 - 33 草土記、34 トルストイ全集、
 - 35 ここに光あり、
 - 36 日本の科学につくした人々、
 - 37 日本の国が出来るまで、38 小公子
 - 39 13の新しい知識、40 くもの糸
- 二、第一二五号 P
- 1 現代人の生簾、2 道徳と教養、
 - 3 生涯を顧みて人生を語る、
 - 4 神仏の微笑、5 かがやく大地、

- 6 革命前夜のロシア、7 家族、
 - 8 大西郷とリンカーン、9 未亡人、
 - 10 天地に日月なくとも、11 女侠一代
 - 12 胃腸病の治し方、13 日本建築史、
 - 14 市場、15 養蚕、16 新店頭販売術、
 - 17 将棋陣太鼓、18 英会話、
 - 19 母の手紙、20 リンカーンの町、
 - 21 愛の囁き、仮面の告白、22 三四郎
 - 23 平の将門、24 恋に道あり、
 - 25 座席は一つあいている、
 - 26 ふくろう先生、27 フランスから、
 - 28 チャイム塔、29 最初の問題、
 - 30 怪刀乱 31 ゲーテの文学、
 - 32 切腹した参謀達は生きてゐる、
 - 33 荒野に生きる女、34 光ほのかに、
 - 35 無人島に生きる十六人、36 象の本
 - 37 クオレ愛の物語、38 象のワシヤン
 - 39 世界名作めぐり、40 美しき港
- 貸出期間 九月～十一月中旬



秋 分 の 日
9 月 2 3 日

祖先を敬い
なくなつた人々をしる

必ず国旗をお忘れなく

増産への道 (病害虫特報)

農家の皆さん!!

今年の稲は温度が低かつたり、雨が多かつたので、病害虫の発生は遅れていたようですが、最近の日照りで各地に「穂首イモチ病」及び「二化メイ虫二化期」の多発が予想されますから、例年のつもりでいると大変です。適期をはずさないようにお互が共同で一斉防除しましょう

◎穂首イモチ病防除

- 1. 水銀粉剤(セレン石灰リオゲンダスト) 反当四キロ
 - 2. 銅水銀剤(水一斗に十二匁) 展着剤加用四〇〇倍液
 - 3. 水銀剤加用八斗式石灰三倍量ホルドワ液(展着剤加用ホルドワ液一斗に対し水銀製剤五匁)
- (註) 2. 3 はいずれも反当八斗一石撒布のこと。

◎第二化期のメイ虫防除

- 1. BHC粉剤三% 反当四キロ(発蛾最盛期)
 - 2. パラチオン(ホリドール)粉剤反当四キロ(カ 液後四―五日)
 - 3. パラチオン(ホリドール)乳剤一、〇〇〇倍反当一石二斗以上(カ)
- (註) 1. 第二化期においてはパラチオン製剤と銅水銀剤との混用はしないこと。
2. 二回撒布の場合は一回撒布後五―六日に行うこと。

◎誘蛾灯の点火

点灯期間 八月十五日―九月十五日

◎さや枯れ切取

山間部 九月一日―九月十五日
平地部 九月五日―九月二十日

▼▼ 適期防除
▼▼ 共同防除